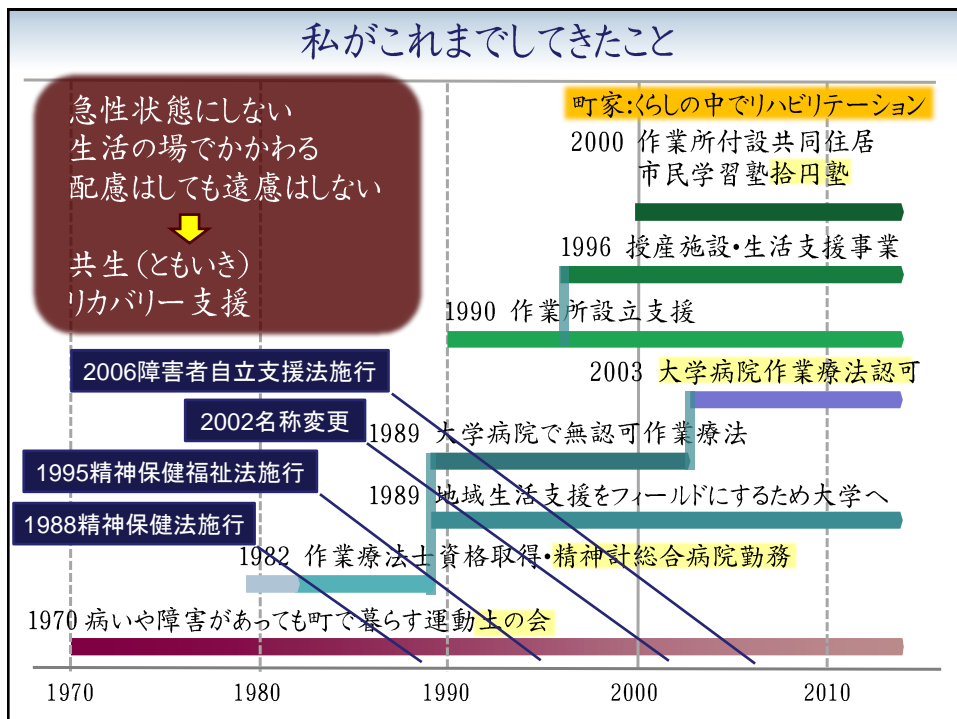


2014/3/14-15  
The 19th Annual Meeting of  
Japanese Society of Schizophrenia Research

## 統合失調症:共生(ともいき)における 作業療法士の役割と課題

Hiroshi Yamane ; OTR, PhD  
Human Health Science  
Graduate School of Medicine, Kyoto University

\* 演題発表に関連し、開示すべきCO I関係にある企業などはありません。



## 精神科病院で確信したこと



### 二重の苦しみの存在

疾患・障害に対する誤解によるスティグマ  
治るといことが難しい疾患

病いや障害の正しい理解  
をどう啓発するか

### 長期に入院する必要はない

長期の入院が生活機能を奪う  
治る, 治すことから病いを生きる(リカバリー)  
生活を通してリハビリテーション

治るものは治すが  
治る・治すから病いを生きる  
病いも生きるへ

### 人的環境が機能障害、活動制限に影響

ひとが補助具に ころの車いす(共助)  
配慮はしても遠慮はしない(共生)

ともにおこなう生活行為を通  
じた支援へ

## 現象から見た統合失調症



コード化すると個々の現象は見えなくなる

- 生活に必要な体験の不足、歪み
- 自己内外の状況判断が適切になされない
- 必要な活動の遂行における種々の問題
- 状況や人への依存性(限局された依存関係)
- 要素的なことに問題がなくても統合されたものになりにくい  
(社会機能としての不適切さ)

## 現象から見た統合失調症

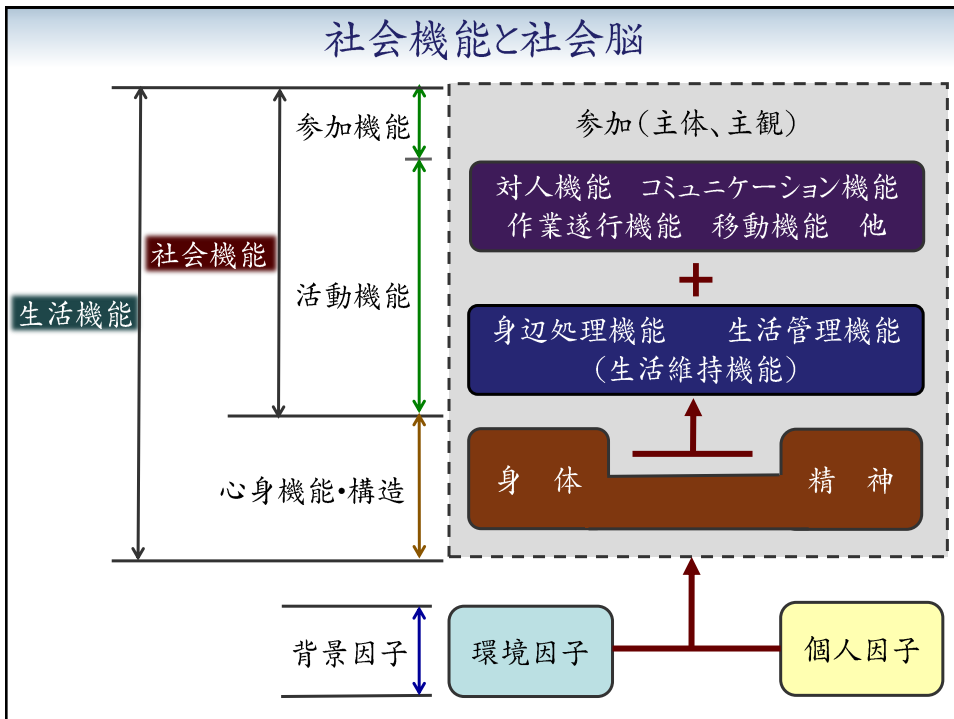


コード化すると個々の現象は見えなくなる

- 言語的なものより具体的な活動を通した体験が有効  
(他者による体験のカテゴリー化が必要)
- 同じことをいろいろな方法で提供することが必要
- 一人より小グループの体験のほうが効果的
- それなりに体得されるが繰り返しが必要
- 負荷への配慮が必要(脆弱)



**原因**(素因、環境?)と**対処**(薬、精神療法、学習、環境調整?)



## 作業療法について

<b>特性</b>	対象の状態とニーズに応じて作業や構造を組み替える
<b>役割</b>	生活機能評価(心身機能, 活動状態, 生活環境, 他) 生活支援機能(機能障害の軽減, リハビリネス, 生活技能の習得汎化 リハビリ支援, 他)
<b>機能</b>	ことばと作業により脳機能を糾す 具体的な目的行動・体験による自己認識と行動変容
<b>手段</b>	生活行為, 創作表現活動, 身体活動, 他
<b>領域</b>	医療, 保健, 福祉, 教育, 就労, 他

ストレングスモデルに基づき 具体的な生活行為を通して  
個々の生活機能を評価し 急性期は病状の早期安定  
回復期は社会脳からみた生活とリハビリ支援

## 作業療法と他の治療との比較

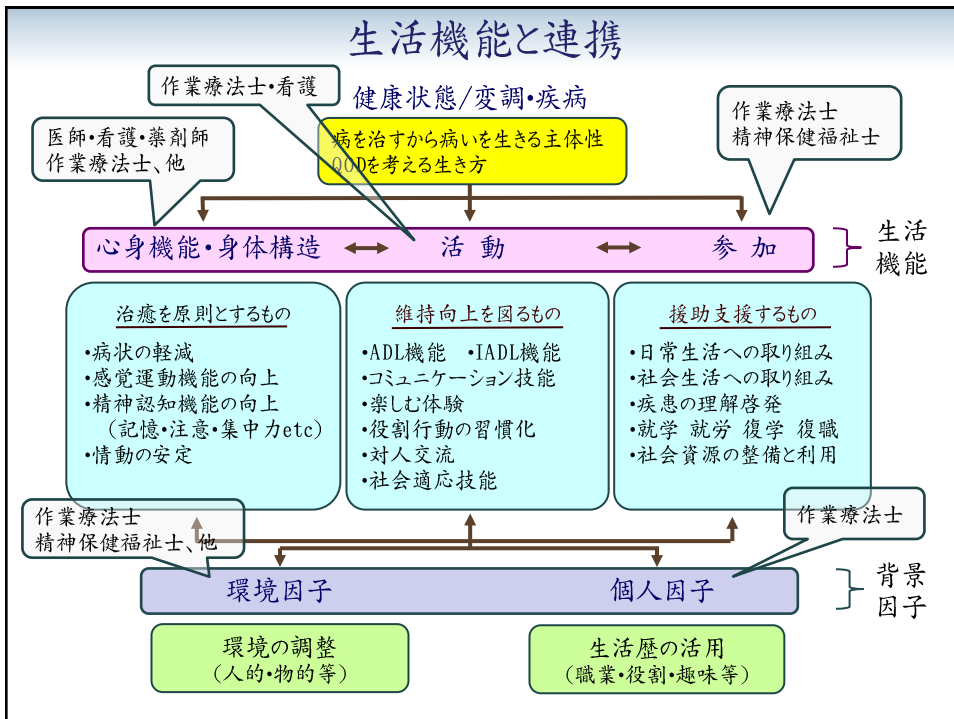
種類	介入手段	特性
薬物療法	薬物	<i>physial</i>
精神療法	言語	<i>human verbal</i>
作業療法	作業 + 言語	<i>non-human non-verbal + verbal</i>

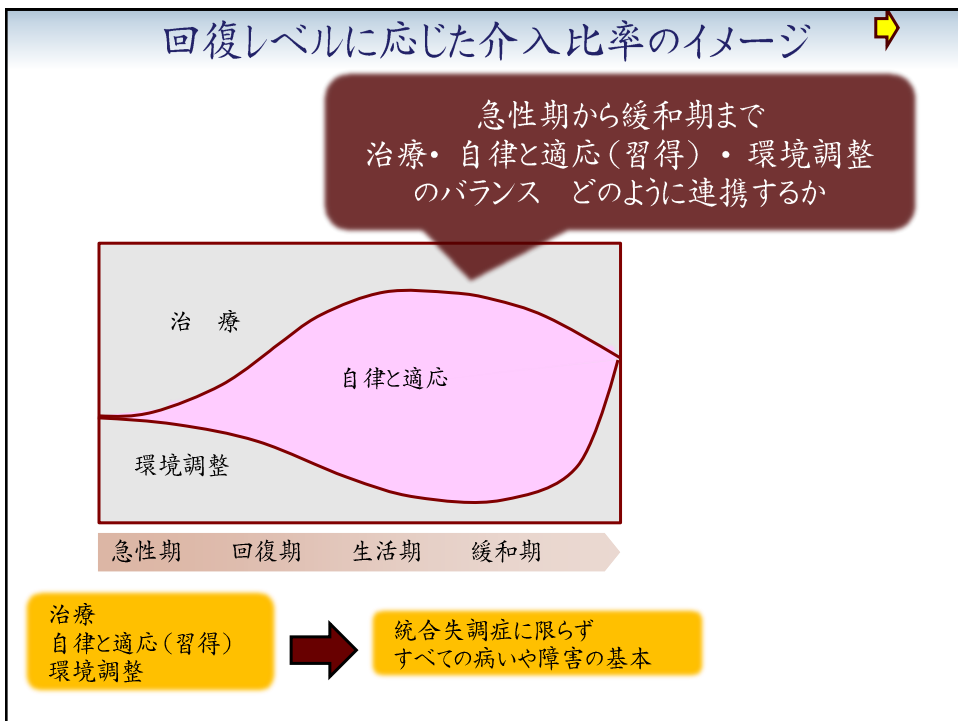
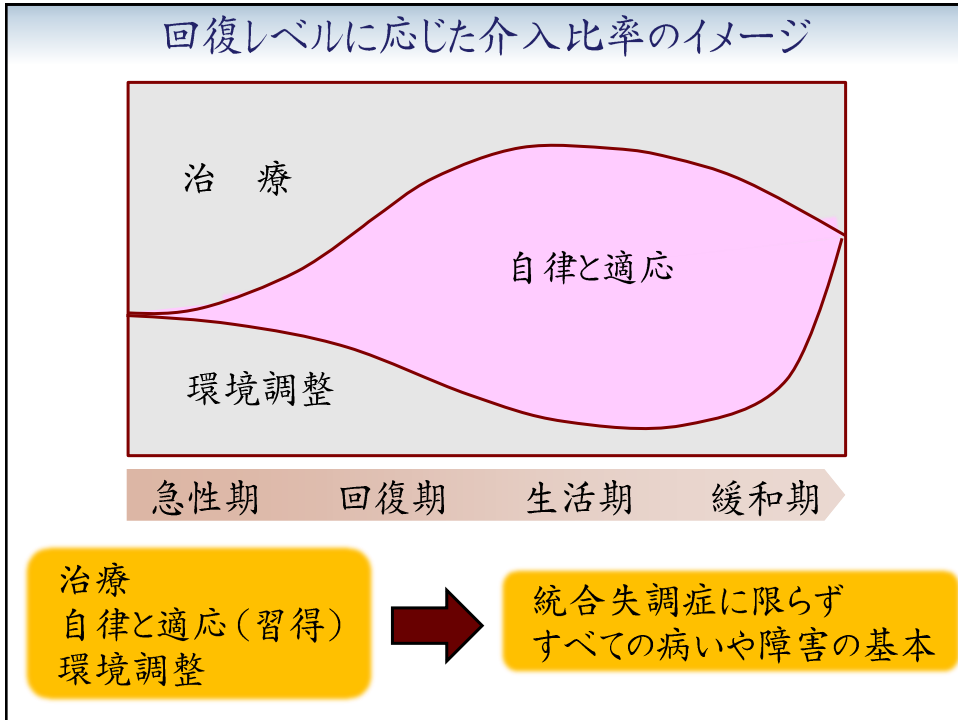
薬物療法など身体療法は症状の軽減  
言語を主媒介とする対話型療法は情動の安定と自己認知  
作業療法は  
具体的な体験による基本機能の維持改善・社会脳の機能向上

## 作業療法における評価と支援の視点

これまでの生活	生育歴 教育歴 職歴 現病歴 治療歴 役割体験など
いまの生活	心身の基本機能 (精神機能 身体機能) 生活維持活動 (身辺処理 生活管理) コミュニケーション 対人関係技能 作業遂行特性 移動・社会資源利用など
これからの生活	本人の希望 周囲の期待 予後予測
どのような環境	人物 制度 住まい 経済
何を生かし	個人因子(年齢 経験 趣味 特技など)
何を援助するか	目標設定

## 生活機能と連携





## 作業療法が提供するデータ1

生活機能	社会機能	心身機能	生理的機能 精神的機能	身体系の生理的機能(構造を含む) 身体系の精神的機能(構造を含む)
		生活維持機能	身辺処理 生活管理	食事,排泄,睡眠,整容,更衣,入浴,基本移動 金銭,時間,物品,安全・健康などの管理
		作業遂行機能	仕事機能 学習機能 家事機能 育児機能	ワークパーソナリティに関する基本機能 学習の基本となる読み,書き,計算など 掃除,洗濯,整理整頓,調理,買い物など 子の成長に必要な栄養,養護,養育活動など
		対人機能	二者関係 集団関係 基本交流	対象に応じた親愛関係や社会的関係をもつ 場の規範や他者の欲求を理解した相互交流 近隣や職場での挨拶や日常的な受け答え
		コミュニケーション機能		意志表示,相手の話を理解した応答機能
		移動機能		交通機関などを活用した移動
		その他		公共サービス,法制度,余暇の利用
		参加機能		自己の生活状況に関与する意志や意欲
		背景	環境因子	人的環境,物理的環境,社会文化的環境
個人因子	職歴,習慣,特技,趣味など個人の特徴			

## 作業療法が提供するデータ1

検査データではなく その人の生活特性  
環境など影響因子 それらの相互作用

生活機能	社会機能	心身機能	生理的機能 精神的機能	身体系の生理的機能(構造を含む) 身体系の精神的機能(構造を含む)
		生活維持機能	身辺処理 生活管理	食事,排泄,睡眠,整容,更衣,入浴,基本移動 金銭,時間,物品,安全・健康などの管理
		作業遂行機能	仕事機能 学習機能 家事機能 育児機能	ワークパーソナリティに関する基本機能 学習の基本となる読み,書き,計算など 掃除,洗濯,整理整頓,調理,買い物など 子の成長に必要な栄養,養護,養育活動など
		対人機能	二者関係 集団関係 基本交流	対象に応じた親愛関係や社会的関係をもつ 場の規範や他者の欲求を理解した相互交流 近隣や職場での挨拶や日常的な受け答え
		コミュニケーション機能		意志表示,相手の話を理解した応答機能
		移動機能		交通機関などを活用した移動
		その他		公共サービス,法制度,余暇の利用
		参加機能		自己の生活状況に関与する意志や意欲
		背景	環境因子	人的環境,物理的環境,社会文化的環境
個人因子	職歴,習慣,特技,趣味など個人の特徴			

## 作業療法が提供するデータ2

認知・遂行要素 指示の理解 集中・持続 工程、結果の理解 正確さ、丁寧さ 作業速度 問題に対する対処 変更に対する対処	作業課題を理解し、作業を開始する 作業に必要な時間、課題活動に集中して取り組む 結果を予測し、段取りを立てて課題活動を進める 結果として求められる基準を満たしている 作業進行に支障のない速度で作業する 自分で工夫、必要に応じて指示を仰ぐなど対処 内容や手順に変更があっても、大きな支障なく対処
身体的要素 持久・耐性 目的動作の協応性	体力面で大きな支障なく作業を続けることができる 身体、特に両手が協応し目的的に機能する
心理的要素 ストレス耐性 感情のコントロール 活動への興味関心 意志・意欲	作業にともなうストレスへの耐性がある 作業に支障を来さない程度に感情をコントロール 対象の作業に興味や関心を抱いて取り組む 自分の役割を理解し、自主的に取り組む
集団関係要素	対人、コミュニケーションに関する基本機能

## 作業療法が提供するデータ2

ともに作業するからわかるその人の認知行動特性  
 なぜ 何に どのように困るのか  
 どうしているのか どう手助けしたらいいのか

認知・遂行要素 指示の理解 集中・持続 工程、結果の理解 正確さ、丁寧さ 作業速度 問題に対する対処 変更に対する対処	作業課題を理解し、作業を開始する 作業に必要な時間、課題活動に集中して取り組む 結果を予測し、段取りを立てて課題活動を進める 結果として求められる基準を満たしている 作業進行に支障のない速度で作業する 自分で工夫、必要に応じて指示を仰ぐなど対処 内容や手順に変更があっても、大きな支障なく対処
身体的要素 持久・耐性 目的動作の協応性	体力面で大きな支障なく作業を続けることができる 身体、特に両手が協応し目的的に機能する
心理的要素 ストレス耐性 感情のコントロール 活動への興味関心 意志・意欲	作業にともなうストレスへの耐性がある 作業に支障を来さない程度に感情をコントロール 対象の作業に興味や関心を抱いて取り組む 自分の役割を理解し、自主的に取り組む
集団関係要素	対人、コミュニケーションに関する基本機能



## 作業療法の意義は作業をすることではない

治療者と対象者が作業を介して関わる過程で得られる

- 対象者の作業することにおける満足感や心地よさといった感覚的变化
- こうすればいいという確からしさ

